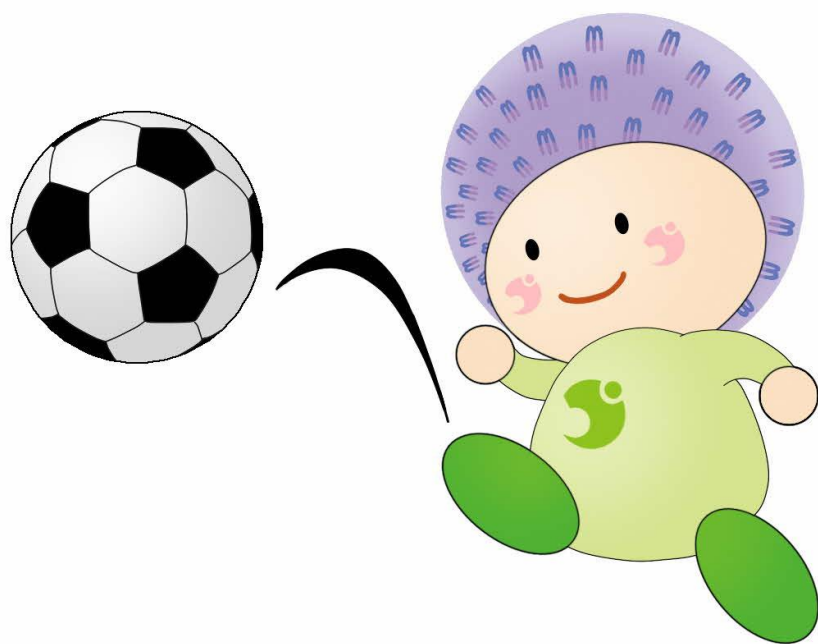


夢 創 造
0歳から15歳までの家庭学習

家庭・保育園・学園が連携して家庭学習の習慣化を図りましょう



平成31年3月

産山村教育研究会
産山村教育委員会

子どもの発達の特質を踏まえた子育て

【0歳から15歳の子育て】

0歳	1.5歳	3歳	6歳	10歳	15歳
乳児期	幼児期		学童期	思春期	
0・1歳児	2・3歳児	4・5歳児	1～4年生	5～7年生	8・9年生
			前期	中期	後期
夢の芽生え期			夢への助走期	夢への疾走期	夢への跳躍期

愛のシャワーをたっぷり注ぎ、
子どもの心を育てましょう！

手をつないで、一緒に
歩いていきましょう

産山村で大事にしたい3つのしつけ

- ① あいさつをする。
- ② 返事をする。
- ③ ^は履き物をそろえる。



も く じ

ページ

1	保護者の皆様へ	・・・	2
2	0歳から3歳までの子育て	・・・	3～5
3	鉛筆を正しく持ちましょう！	・・・	6
4	うぶやま保育園での生活	・・・	7～8
5	1・2年生	・・・	9～10
6	3・4年生	・・・	11～12
7	5・6年生	・・・	13～14
8	7・8年生	・・・	15～16
9	9年生	・・・	17～18
10	子育てチェックリスト	・・・	19～21
11	問い合わせ先	・・・	22

保護者の皆様へ

■一貫教育について

「じっくり」「しっかり」「のびのび」学ぶ教育の創造という視点のもとで始まった産山の小中一貫教育をさらに充実するために、平成25年7月から各期のなめらかな接続を重視した保小中一貫教育を推進しています。そのために自立への基礎を築く時期である0歳から15歳の時期を大切にしたいと考えています。

子どもの教育は、園や学園だけでは成り立ちません。特に、「生きる力」の基礎を育む乳幼児期からの愛のシャワーをたっぷり注いだ家庭教育が大事です。そして、乳幼児期のしつけを大切にしながら、保育園・学園の学びをなめらかにつないでいくことが必要です。

15歳の春を輝かせるため、家庭、地域、園、学園がそれぞれの役割を大切にしながら互いに連携し、これからの産山村や日本を担う「産山の子」を育てていきたいと思えます。

■家庭教育について

家庭は、子どもが最初に出会う社会です。子どもにとって、人との関わりを学び、衣服の着脱や食事、睡眠、排せつなどの基本的な生活習慣を身につけることのできる育ちの場です。

核家族化や少子化が進み、家庭や地域の教育力低下が叫ばれるなか、改めて家庭の役割が問い直されています。子どもにとって、家庭は教育の出発点です。

■手引きについて

このたび、産山村教育委員会では、産山村一貫教育企画運営委員会と産山村教育研究会のご協力のもと、「産山村家庭学習の手引き」（第2版）を作成しました。

子どもの成長にあわせながら、家庭で留意していく子育てのポイントを確認し、家庭学習の習慣化に向けて活用してください。

家庭学習の3つのポイント

- ① テレビを消して集中する。
- ② 机の上をきれいにする。
- ③ よい姿勢でする。



胎 教

赤ちゃんは 家族みんなの宝物

- 喜びいっぱい、みんなで赤ちゃんを待ち望みましょう。
- 家族みんなで助け合いましょう。

聞いていますよ お腹の中で

- 大きくなったお腹をやさしくなでたり子守歌を歌って聞かせたり、やさしく語りかけましょう
- お腹の赤ちゃんと話しましょう。

妊娠中はゆったりと リラックス

- 心配ごとは医師や身近な人に、相談にのってもらいましょう。
- 心地よい音楽を聴いたり読書をしたりして、心落ち着く、安らぎの時間を持ちましょう。

母体の健康は 赤ちゃんの健康

- 食事に気を配りましょう。
- お酒やタバコはやめましょう。まわりの人も気をつけましょう。
- 車などの運転には十分注意しましょう。

赤ちゃんの生活リズムは お腹の中で決まります

- 三食きちんとバランスのよい食事をとりましょう。
- 早寝、早起きに心がけましょう。



とにかく話しかけて(声のスキンシップ)

- 母乳やミルクを飲ませるときは、しっかりだいて、目と目を合わせ、笑顔でやさしいことばをたくさんかけましょう。
- おむつを替えるときは、あやしたり笑顔で声をかけたり、体をさすってあげましょう。
- 子守歌を聞かせてあげたり、絵本を読んであげましょう。
- 子どものしぐさやことば・表情に受け応えてあげましょう。

0 歳～1 歳

やりたい気持ちの芽生えを大切に

- ゆったりと散歩させ、五感を刺激させましょう。
- 自分の目でよく見、体でふれ、発見の喜びを味わわせましょう。

スキンシップで信頼関係を

- だっことおんぶを十分しましょう。泣くことは赤ちゃんの言葉です。泣いたら声をかけたり、だいてあげたりして応えてあげましょう。
- あやしたり体を使ったりして、親子のふれ合い遊びをたくさんしましょう。
- いっぱい手をかけ、甘えを受け入れてあげましょう。

離乳食は食べることの基本

- 愛情ある手づくりを心がけましょう。
- 自分で食べようとする気持ちを大切に、こぼしても汚しても大目に見ましょう。

家族で協力して子育てを

- 家族の共通理解と協力が大切です。
- 大変なとき、困ったときは、家族に遠慮なく甘えることも大切です。



1 歳～2 歳

子どもの気持ちをわかってあげて

- 子どもに合った生活リズムですごしましょう。
- 子どもの気持ちやことばを温かく受け止めてあげましょう。
- 子どもの行動を見守り、発見に共感し、言葉をかけてあげましょう。
- 甘えてきたら相手になってあげましょう。

元気のもととは三度の食事から

- 好きな物だけに片寄らず、何でも食べさせ健康の土台を作りましょう。
- 自分でスプーンを持って食べようとする気持ちを大切に、こぼしても大目に見ましょう。
- 食事は家族一緒に楽しく食べましょう。
- 愛情ある手作りを心がけましょう。

遊びで子どもの心と体はぐんぐん伸びる

- 自然にふれながら、戸外で体を動かして遊ばせましょう。
- 子どもと一緒に遊びましょう。
- 絵本をくり返し何度でも読んであげましょう。
- 手の届くところに絵本を置きましょう。



小さくてもしつけは大切

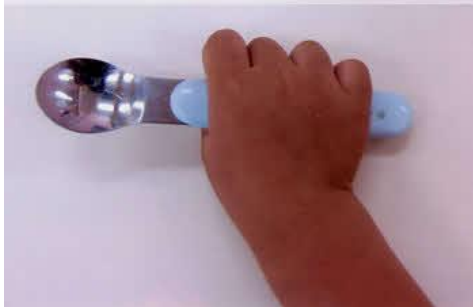
- 危険なことやしてはいけないことを始めたときは、短いことばで真剣に厳しい表情できっぱり伝えましょう。
- いいことをしたときは、いっぱいほめてあげましょう。
- 大人が手本を示し、あいさつを習慣化させましょう。

家族で協力して子育てを

- 家族の共通理解と協力が大切です。
- 大変なとき、困ったときは、家族に遠慮なく甘えることも大切です。

スプーンの持ち方

鉄棒握り（順手）



鉄棒握り（逆手）



三点持ち（ペンホルダー）



三点持ちとは、中指にスプーンの柄を置き、その両側を人差し指と親指で挟む持ち方です。スプーンから箸に移行するとき、三点持ちが、正しい箸の持ち方への基本となるので、正しいスプーンの持ち方を小さいうちから心がけるようにしましょう。

子どもは遊びの中で育つ

- お日さま・水・土・小動物・草花にふれる機会を多く持たせましょう。
- ままごと、電車ごっこなど、ごっこ遊びを十分にさせましょう。
- 子ども同士で遊ばせましょう。(けんかも大切)
- 自分の思いどおりにならない経験をとおして、自分の気持ちをコントロールしていく力をつけさせましょう。
- テレビ・ビデオ・ゲームなどに子守りをさせないようにしましょう。

2歳～3歳

心の育ちを大切に

- 時に赤ちゃん返りをすることもあります。自立と甘えで揺れ動く気持ちを受け止めましょう。
- やってみようとする気持ちを大切に、いっぱいほめてあげましょう。
- 大人のひざのぬくもりを感じさせながら、絵本や昔話を聞かせましょう。
- お話をいっぱいしたい時期です。ゆっくり話を聞いてあげましょう。
- 子どもと一緒に遊び、喜び合いましょう。



しつけは何度も何度もくりかえし

- あいさつとありがとうの感謝の気持ちは、大人が手本を示しましょう。
- 身のまわりのことができたならほめてあげましょう。
- やってよいこと・いけないことをきちんと伝えましょう
- 物を買ひ与えすぎないようにしよう。
- 叱るときは、叱る理由をはっきり言いましょう。



食事は家族で楽しく

- 食事の習慣は大人が手本を示しましょう。
- 食事中は家族の会話の場です。テレビを消しましょう。
- 愛情ある手作りを心がけましょう。

家族で協力して子育てを

- 家族の共通理解と協力が大切です。
- 大変なとき、困ったときは、家族に遠慮なく甘えることも大切です。



箸と茶わんの正しい持ち方が、鉛筆の持ち方や学習の姿勢につながります。

家族の信頼感

メッセージ

伝えよう 愛しているの

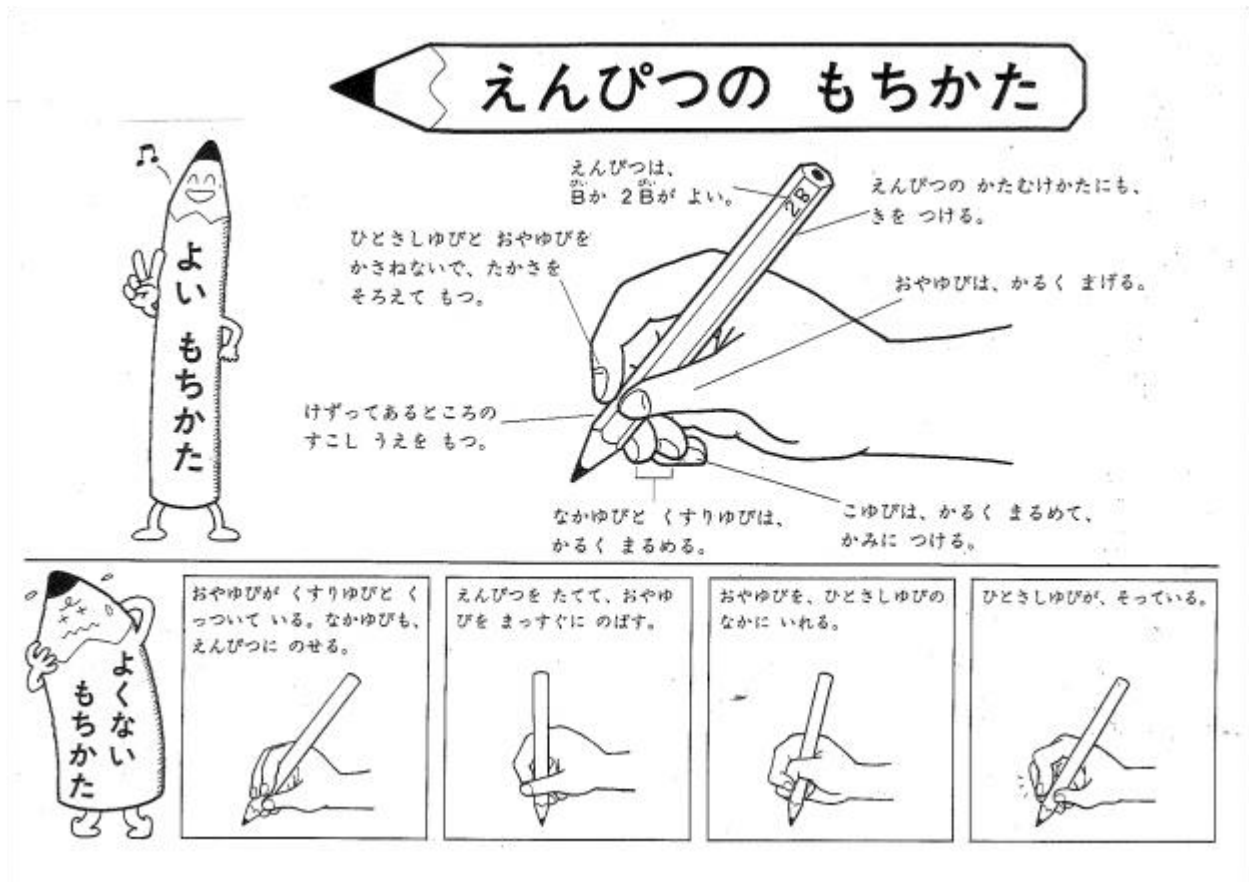
私は、家族にとって本当に

かけがえのない存在なのです

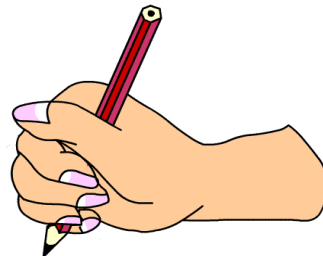
熊本県教育委員会

「くまもと家庭教育10か条」より

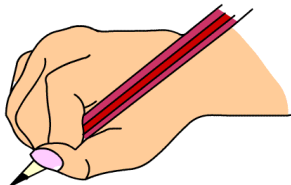
鉛筆を正しく持ちましょう



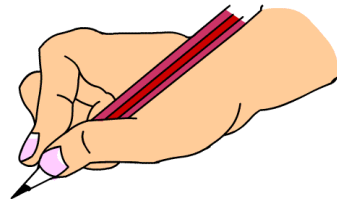
鉛筆を握りしめる



親指が飛び出す



人差し指がとんがる



指先に力がないと、どうしてもこんな持ち方になってしまいます。やわらかい鉛筆を持たせて運筆練習をさせたり、色鉛筆やパスで塗り絵をさせたりして指先の力を鍛えましょう。

うぶやま保育園での生活

うぶやま保育園で子どもたちは、一日の長い時間を過ごします。そのため、まず心地よく生活する場として、情緒の安定を図ることが必要です。養護と教育が一体となって豊かな人間性をもった子どもを育成します。遊びの中で、生きる力の基礎を身につけていくようにしています。

保育園開園時間 → 平日:7:30~18:00 土曜日:7:30~17:00

うぶやま保育園の一日

7:30~9:30 順次登園

登園・・・あいさつ

視診・・・機嫌、健康状態の把握

家庭からの連絡を受ける

各保育室に入る

持ち物整理・・・連絡ノート・コップ・手拭タオル・水筒

出席ノートの整理（シールはり）



8:30~11:30 保育(戸外保育も含む)

未満児
おやつ



片付け

出席調べ

絵本の読み聞かせ

お話し



一斉活動(計画による活動)

年齢別・異年齢別(なかよしチーム)

♪火・水曜日 英会話遊びなど

♪木曜日 絵本の読み聞かせなど



11:15~12:30 未満児昼食



11:45~12:30 3~5 歳児昼食



おはよう
ございます！



休息(午睡含む)

13:00~15:00 未満児

13:30~15:00 3・4 歳児

13:45~15:00 5 歳児



ひるねの用意(布団敷き)

絵本の読み聞かせなど

15:00~16:00 おやつ

フッ素洗口(4・5 歳児)

手洗い

歯みがき



降園の準備

持ち物の始末

身支度を整える

降園のための観察



さようなら



16:00~ 降園

あいさつ

持ち物点検

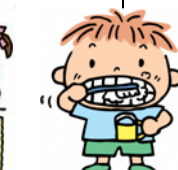
17:00~18:00 時間外保育

好きな遊び

絵本の読み聞かせなど



食後は
歯みがき！



卒園・入学までに身につけてほしいこと

体を使ってたくさん遊ぶ

- ◎決まった時刻に寝起きする。
- ◎朝ご飯を食べる。
- ◎あいさつや返事をはっきりする。
- ◎履き物をそろえる。
- ◎箸や鉛筆が正しく持てる。
- ◎人の話を耳と目と心でよく聞く。

人との
関わりを
持つ

感動
する心
を持つ



- ◎すすんで手伝いやかたづけをする。
- ◎「ありがとう」「ごめんなさい」が心から言える。

保育園

家庭

地域



家庭と地域と保育園が協力して、産山村の子どもたちを大切に育てていきましょう。

あいさつの習慣化

習慣に

朝昼晩 元気にあいさつ

「わたしは」「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」のあいさつをずっといきいき過ごせます。」

熊本県教育委員会

「くまもと家庭教育10か条」より

1・2年生の保護者の皆様へ

めあて: 基本的な学習習慣を身につける。

家庭学習 3つのポイント



学習時間のめやす

20～30分

(10分×学年+10分)

ポイント

その**①**

学習の土台を築く！

- ① 「正しい姿勢で座る」② 「鉛筆を正しく持つ」③ 「机の上を整とんする」④ 「静かな環境（テレビやゲームを消します）」

などの基本的な生活習慣を身につけることが、これからの学習の土台となります。

ポイント

その**②**

やる気を持たせる！

- ① 「やったね！」「よくできたね！」などのほめ言葉。
② 「いっしょに確認」

など愛情あるコミュニケーションで、ねばり強く働きかけて、いくことが大切です。

ポイント

その**③**

親子で学習を楽しむ！

- ① 「親子で読書」② 「読み聞かせ」③ 「親子であいうお・かけざん九九」など、お手本とをなるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めることが大切です。

1・2年生の家庭学習の内容や方法

しゅく だい 宿 題

☆最後までやり終えることが大切です。

☆困った時は、家族に相談してみましょう

☆宿題は必ずしましょう。

じ がく 自 学

☆好きな本をたくさん読みましょう。

☆親子で、チャレンジする学習に取り組
みましょう。

こくご 国語

- 楽しみながら大きな声で音読できるようにしましょう。
- 「、」や「。」に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
- 書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
- 正しい姿勢でていねいに書きましょう。
- できごとを文で書けるようにしましょう。

さんすう 算数

- たしざんやひきざんが正しくできるようにしましょう。
- 2年生は、九九がすらすらできるようにしましょう。
- まちがった問題は、もう一度やり直しましょう。

善悪の区別

熊本県教育委員会
「くまもと家庭教育10か条」より

躰から

教えよう 事の善し悪し

「わたしは、正しいこと・しては
いけないことをきちんと教わりたい」

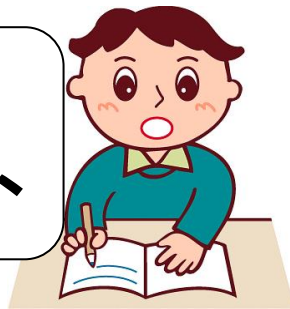
チャレンジアップ ～やってみよう！～

- 本を読む。
- ひらがな、カタカナ、漢字を練習する。
- 教科書を写す。
- 作文を書く。
- 日記を書く。
- 詩を書いたり覚えたりする。
- ドリルなどをする。
- 問題をとく。
- 問題を作る。
- 定規を使う練習をする。
- 生き物を観察する。
- 辞典（事典）や図鑑で調べる。

3・4年生の保護者の皆様へ

めあて：自ら学習に向かう習慣を身につける。

家庭学習 3つのポイント



学習時間のめやす

40～50分

(10分×学年+10分)

規則正しい生活の再確認と見直し！

ポイント

その**①**

時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自律心や学習への集中力を高めることにつながっていきます。特に、テレビやゲームなどの時間を、家族で話し合いながら決めて、自分で守るようにさせていくことが大切です。

意欲を引き出す言葉かけ！

ポイント

その**②**

学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てきます。そのような時には、友だちや兄弟・姉妹と比べたりするのではなく、子どもの「やる気」を見のがさないようにして、ほめたり励ましたりすることで意欲を引き出していくことが重要となります。

自分でできることは自分でする！

ポイント

その**③**

3・4年生は好奇心が旺盛となり、自立心も芽生えてくれることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。だからといって、任せっきりにするのではなく、特につまずきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気を起こさせる上でとても重要です。

かていがくしゅう ないよう ほうほう

3・4年生の家庭学習の内容や方法

しゅくだい 宿題

- ☆①指定問題(プリント、スキル等)
- ☆②自考問題(自分で考える問題)
- 自考ノートにそれぞれ考えた問題を書く

じがく 自学

- ☆資料集や地図帳、辞典(事典)などを
- つけた調べ学習にも挑戦してみよう。

こくご 国語

- 新しく習った漢字や覚えていない漢字を練習しましょう。
- 好きな本や他の教科書も読んでみましょう。
- 一日の中で楽しかったことや心に残ったことを日記に書いてみましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。
調べたらノートに意味を書いておきましょう。

さんすう 算数

- その日に勉強したところの問題をといたら、丸つけをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。
まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、
まちがえなくなるまでやり直しましょう。

た きょうか その他の教科

- その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。
- 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを、図書館の図鑑や辞典(事典)、インターネット(親子で検索)などで調べてみましょう。
- 社会科では地域社会の文化や産業について調べたり、理科では自然にふれる体験をしたりするのもいいでしょう。
- 音楽のリコーダーで習った曲を練習しましょう。

感謝の心

出発点
「ありがとう」は生きぬくための

わたしは、
みんなに感謝して生きています。

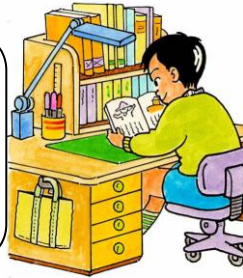
熊本県教育委員会

「くまもと家庭教育10か条」より

5・6年生の保護者の皆様へ

めあて：予定を立て、自力で学習を進める。

家庭学習 3つのポイント



学習時間のめやす
60～70分
(10分×学年+10分)

ポイント

その①

今一度、基本的な生活習慣の見直し！～生活にリズムを～

生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身につきます。「起きる時刻」「食事の時刻」「寝る時刻」などを決めて生活しましょう。テレビやゲーム、パソコンなどの時間がダラダラと長くなりすぎているかも再確認しましょう。

ポイント

その②

予定を立て、計画的な学習！～勉強時間を決めて～

学園での役割、また、部活動等の練習や水泳・陸上の練習があり、放課後が慌しくなります。充実した日々を過ごすため、その日の予定を立て、見通しを持って学習しましょう。必ず、学習する時間帯を決めましょう。

ポイント

その③

目標に向かって努力することが大切！

将来の夢や希望、勉強する目的や学園での様子、失敗談などを家庭で話し合い、目標を持って努力することの大切さについて考えてみましょう。自分がどれだけがんばったのかが大切な点です。伝記（偉人伝）などを読んで、人の生き方に興味を持つのもいいです。

5・6年生の家庭学習の内容や方法

宿題

☆「読む」「書く」「計算」といった基礎学力を身につけるために、くり返しの練習が大切です。

☆宿題は必ずしましょう。

自学

☆自分で課題を見つけて、追究する学習にも挑戦してみましょう。

国語

- 教科書を音読し、音読カードにサインをしましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。それが終わったら、その漢字を使って短文作りをしてみましょう。
- 視写はとっても大切です。教科書や新聞の記事など、字数を決めて視写に挑戦してみましょう。
- いろいろなジャンルの本を読んで、読書の習慣をつけましょう。

算数

- 計算プリント、計算ドリルを使って、くり返し練習しましょう。
- 自分で答え合わせをし、間違った問題はもう一度チャレンジしてみましょう。

その他の教科

- 社会や理科など、どんどん自分から調べ学習をしていき、知識を身につけましょう。
- 国語辞典をはじめ、いろいろな辞典（事典）をどんどん活用しましょう。
- 演奏できる楽器が一つでもあると生活が豊かになります。
- 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践してみましょう。また、家事の分担を考え、できることを役立てましょう。

我慢する心

がまん力

肥後っ子のあすを支える

「わたしたちって、一つ一つの小さな我慢の積み重ねが生きていく糧になっています。」

熊本県教育委員会

「くまもと家庭教育10か条」より

7・8年生の保護者の皆様へ

めあて:計画的・継続的な学びを進める。

家庭学習 3つのポイント



学習時間のめやす
1時間 30分以上
(10分×学年+20分)

予習・復習の習慣を身につける！

ポイント

その①

前・中期に比べると、後期の授業内容や授業進度を、かなり負担に感じる生徒が多くなります。あらかじめ自分で調べたり、考えたりして授業に臨む（予習）ことや、その日のうちに教科書・ノート・プリント・ワークなどを使って学習のポイントを整理する（復習）ことによって、授業の理解度や定着が大きく違ってきます。

学習のプリントを有効活用する！

ポイント

その②

学園で配られるプリントには、学習のポイントが整理されています。バラバラにならないように、きちんと整理して、活用することが大切です。毎日の予習・復習にはもちろん、テスト勉強の際にも見直したりして有効に活用しましょう。

問題を解いた後がもっとも大事！

ポイント

その③

問題を解いた後がもっとも大事です。分からない時は、分かるところまで戻って解くことも大切ですし、間違ったところは必ず見直しをし、問題に印を付けておきましょう。印を付けた問題を先生や友だちに相談してもいいですし、テスト前は印がついた問題を重点的に確認しましょう。

7・8年生の家庭学習の内容や方法

国語

- ・教科書で学んだ文章を声に出して読みましょう。本や新聞を読んで、様々な文章に親しみましょう。
- ・教書に載っている進出漢字をしっかりと書いて覚えよう。見ないでも書けるか確認しよう。
- ・古典特有の読み方や、文法事項などを復習しましょう。
- ・日記や手紙を書くことなど、普段からまとまりのある文章を書く習慣を身につけましょう。

社会

- ・歴史の教科書や学習マンガを読み、ストーリーを把握しよう。
- ・教科書を読み（次の時間に学習する範囲）、太字、むずかしい語句、わからない語句などをチェックしましょう。
- ・学習した範囲のワークを解き、間違えた問題の番号に印付けをして、出来るまで解き直しましょう。
- ・重要な語句は、単語カードを作って覚えましょう。

数学

- ・授業中に解いた問題をその日のうちに家庭学習用ノートに書き出し、もう一度解いてみましょう。
- ・テスト前は、ワークの問題を少なくとも2回は解いてみましょう。
- ・正解しなかった問題には印をつけておき、繰り返しチャレンジしてみましょう。テスト前は、この印のついている問題を中心に復習しましょう。
- ・問題を解くときには、途中の計算や解き方も必ず記入し、丸付けまで必ず行いましょう。
- ・解くことの出来なかった問題はわかるまで取組みましょう。

理科

- ・学園で勉強した内容について、その日のうちにきちんと復習して長期記録に残しましょう。
- ・ワークの問題は最低2回解き、答え方に慣れましょう。

英語

- ・英語の勉強で一番大切なのが復習です。授業があったその日のうちに、5分でもいいので必ず復習するようにしましょう。（授業中のワークシートの見直しやワークブックを解くなど）
- ・宿題や授業中に間違えた問題の解き直しをしましょう。
- ・授業でやった本文の音読をしましょう。また、日本語から英語にして読んでみましょう。
- ・習った単語の練習をし、その後、覚えたかどうか、自分でテストをしてみよう。
- ・教科書の文章を暗記するまで何回も読みましょう。

命の大切さ

自分の命 みんなの命

どれもが世界で一つだけ

「わたしは、生まれてきてよかったです。」

みんなの命を大切にします。」

熊本県教育委員会

「くまもと家庭教育10か条」より

9年生の保護者の皆様へ

めあて:進路に向けて目標を明確にし取り組む

家庭学習 3つのポイント



学習時間のめやす
1時間 50分以上
(10分×学年+20分)

めざす進路を具体的に決めて、計画を立てる！

ポイント

その①

進路の目標がはっきりしないと具体的な計画は立てられません。目標実現のためには、現在の自分に何が不足し、何が必要なのかを明確にすることが大切です。そのためにも、進路について家庭でしっかりと話し合しましょう。

生活リズムを整え、時間を有効に使う！

ポイント

その②

自分の力を最大限に伸ばすために生活リズムを整えましょう。睡眠不足では疲れがとれず、集中力も続きません。また、朝食をぬくとエネルギー不足となり、脳のはたらきが悪くなります。時間を有効に使い、家庭学習の時間を確保しましょう。

9年生の学習内容と7・8年生の復習を両立させる！

ポイント

その③

部活動引退前、部活動引退後、長期休業中など、時期によって時間の使い方を工夫しましょう。(例えば、引退前は、平日は9年の予習や復習を、休日は7・8年生の復習をする。長期休業中は、7・8年生の復習を中心にする。)自分にあった方法を工夫し、3年間のまとめの学習になるようにしましょう。

9年生の家庭学習の内容や方法

国語

- ・漢字は書いて覚え、見ないでも書けるか確認しましょう。
- ・最初は短い文章からで良いので、文章を読み設問に答える練習をしましょう。
- ・古典特有の読み方や、文法事項を復習し、問題演習をしましょう。

社会

- ・重要な語句は、単語カードを作って暗記しましょう。
- ・教科書やノートを繰り返し読んで、内容の理解に努めましょう。
- ・ワークや問題集を解く際、間違えた問題は印をつけておき、出来るまで解きましょう。

数学

- ・四則計算を中心に、計算力アップを目指しましょう。
- ・数学の公式は繰り返し使って覚えるようにしましょう。
- ・文章題や証明などの応用問題は、同じ問題や似た問題を問題集などで解きましょう。
- ・解けなかった問題は、分かるまで取り組みましょう。

理科

- ・学園で学習した内容について、その日のうちにきちんと復習して長期記録に残しましょう。
- ・ワークの問題は最低2回解き、答え方に慣れましょう。
- ・入試問題集などを使って、応用力をつけましょう。

英語

- ・授業で学習した基本文は、声を出して読みましょう。
- ・単語や基本文は、英作文で活用できます。繰り返し書いて覚えましょう。
- ・英文を日本語に直したり、日本語を英文に直したりしてみましょう。
- ・授業中に間違えた問題の解き直しをしましょう。



食事・団らん

熊本県教育委員会
「くまもと家庭教育10か条」より

家族仲良く 食事・団らん
心と体に栄養を
「わたしは、家族仲良く食事をしたり話
をしたりする時間がとても大好きです。」

育てたい生活行動のポイント

基本的生活習慣

- 朝、だいたい決まった時間に起きる。
- 夜、だいたい決まった時間に寝る。
- 家であいさつができる。
- 箸を使って食事ができる。
- 好き嫌いなくたいていの物は食べる。
- 服を自分で着たり脱いだりできる。
- 脱いだ服をたためる。
- 排泄が一人でできる。
- 顔を洗うことができる。
- 歯磨きやうがいができる。
- 履き物をそろえることができる。
- 片付けができる。
- 順番を守ることができる。
- 約束したことは守ることができる。
- 車が来ないか確かめて道を横断できる。

生活体験

- 茶わんを洗える。
- 包丁を使える。
- ひもが結べる。
- ほうきで掃除ができる。
- 雑巾をしぼれる。

自然体験

- 草花で遊ぶ。
- 昆虫や動物に興味を示す。
- 虹や星空などの自然現象に感動する。

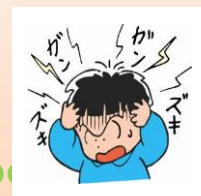
社会体験

- 近所や知り合いにあいさつができる。
- 友だちと遊べる。
- 人が話しているときはきちんと聞ける。
- 地域活動に参加している。

不登校の前兆 早期発見チェックリスト

家庭での変化

- ☐ 朝起きるのが遅くなり、布団からなかなか出てこなくなった。
- ☐ 朝食が進まなかったり、着替えやトイレに必要以上に時間をかけたりするようになった。
- ☐ 登校時間になると頭痛や腹痛、発熱などを訴え、保護者が学校に欠席連絡を入れると元気になることがある。
- ☐ 欠席した日の夕方や休日になると、いつもとは様子が違って活発に行動するようになった。
- ☐ 学園の様子や勉強のことを聞いたりすると、ひどく不機嫌な様子を見せるようになった。
- ☐ 部屋に閉じこもりがちになるなど、家族との会話が少なくなった。また、逆に母親などへの甘えが強くなってきた。
- ☐ 夜更かしが多くなり、朝起きられないことが多くなった。



以上のような変化を感じたら、迷わず担任の先生に相談しましょう。学園と家庭が連携し、一人ひとりの子どもの状況を共有することが不登校を未然に防ぐ一番の方法です。

我が家の家庭教育チェックリスト

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 家族のあいだであいさつができていますか。
<input type="checkbox"/> 朝食抜きで登校することがありませんか。
<input type="checkbox"/> 子どもの持ち物や服装、友人などにあまり関心がないということがありませんか。
<input type="checkbox"/> 子どもを家事に積極的に参加させていますか。
<input type="checkbox"/> 親子がともに汗を流す機会がありますか。
<input type="checkbox"/> 子どもの前で言い争いをすることがよくありませんか。
<input type="checkbox"/> しつけの方針に食い違いがありませんか。
<input type="checkbox"/> しつけや教育のことは学校任せにしがちではありませんか。
<input type="checkbox"/> 学園のきまりについてあまり知らないということがありませんか。
<input type="checkbox"/> 子どもの前で学や先生、他人の悪口を言うことがありませんか。
<input type="checkbox"/> 勉強やスポーツの成績で子どもを判断しがちではありませんか。 | <input type="checkbox"/> 口やかましく何かにつけて干渉しすぎることはありませんか。
<input type="checkbox"/> 子どもの言い分をよく聞かずに親の考えを一方的に押しつけがちになっていませんか。
<input type="checkbox"/> 「みんな持っている、している」と言われるとつい許してしまうことがありませんか。
<input type="checkbox"/> 子どもを叱ったときに、反抗や無視をされるとつい親が折れてしまうことがよくありませんか。
<input type="checkbox"/> 子どもに「悪いことは悪い」と教えることができていますか。
<input type="checkbox"/> ほめたり叱ったりするときに、まようだいや友だちと何気なく比較していませんか。
<input type="checkbox"/> 「うちの子に限って」とか「友だちのせい」と考えがちではありませんか。
<input type="checkbox"/> 隣近所の方々をあまりよく知らず、あいさつもしないということがありませんか。 |
|--|--|

携帯電話(スマートフォン)について

○**学園生に、本当に携帯電話(スマートフォン)が必要ですか。**

○**「電話」ではなく、一人でメール・ネットをするための「道具」になっていませんか。**

全国的には、子どもたちにインターネット機能つき携帯電話が急速に広まっています。子どもたちは保護者の目の届かないところで「危険」とつながっています。出会い系やアダルト系等の有害サイトへのアクセス、さらに誹謗中傷の書き込み等の「ネットいじめ」といった現状がますます深刻化しています。

本当に今、子どもに「携帯電話」が必要なのでしょうか。子どもに「携帯電話」を持たせることで、「いつでも、どこからでも子どもと連絡が取れて安心・安全だから」と、保護者が思い込んでいるだけではありませんか。

携帯電話は、家族との連絡手段ではなく、圧倒的に友達同士のコミュニケーションツールとして利用されているのです。携帯電話・インターネットの利用によって、現実には起こっている様々なトラブルの実態を保護者自身が学び、各家庭で携帯電話が本当に必要なのかをしっかりと子どもと話し合ひましょう。



○**子どもが「携帯電話が欲しい」と言ったら。**

話し合いのポイント

- ・なぜ必要なのか、どんな目的で利用するのかについて
- ・ネットの特性や危険性について
- ・使用にあたっての約束事について

○**どうしても携帯電話を持たせる場合のルール作り**

例えばこんな約束事を

- ・食事中や午後9時以降は、携帯電話を使わない。
- ・ネットに、人の悪口や個人情報を書き込まない。
- ・知らない人からのメールは開かず、親に相談する。

※うぶやま「インターネット利用」10か条を守ろう

うぶやま「インターネット利用」10か条

※ ここにいう「インターネット」とは、ケータイ・パソコン・ゲーム機・携帯型音楽プレーヤーなど、インターネットやメールに接続できるすべての機器を言います。

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。
つまり、父母その他の保護者は、子どもたちの教育について第一義的責任を有しています。
そこで、現在、社会問題化し喫緊の教育課題となっている「インターネット等が絡んだ犯罪の危険性」から、釜山村の児童生徒を育てるため、ここに「うぶやま「インターネット利用」10か条」を制定します。

平成26年7月4日
釜山村PTA連絡協議会

第1条（フィルタリング）

必ずフィルタリングをかけます。

～解除されていないが、定期的に確認します～

第2条（使用時間）

夜9時以降は使用させません。

～学習や睡眠の時間を十分に確保させます～

第3条（夜間の管理）

夜9時まで、保護者が預かり朝まで返しません。

～時間厳守を徹底し、夜間の保管は保護者が責任を持ちます～

第4条（休日の使用）

休日の使用時間帯を決めます。

～一日中だらだらと使用させず、生活にメリハリを付けさせます～

第5条（使用場所）

自分の部屋では使用させません。

～居間やリビングなど家族の目の届く範囲で使用させます～

第6条（個人情報保護）

氏名、住所、写真などをインターネット上に載せさせません。

～動画の投稿も含め、プライバシーの保護を徹底させます～

第7条（書き込み）

悪口など、人を傷つけるような書き込みをさせません。

～親や友だちをはじめ、だれに見てもいい内容しか書き込ませません～

第8条（出会い）

インターネット上で知り合った人と絶対に会わせません。

～個人でもグループでも友だちの紹介でも絶対に会わせません～

第9条（持ち出し）

学校には、絶対持って行かせません。

～学校内外における生徒指導上の決まり事を守らせます～

第10条（わが家の1か条）

◎以上は、最低限のルールです。詳細については、各家庭で話し合って決めてください。

子育て支援センターとは

産山村にはうぶやま保育園内に子育て支援センターがあります。

子育て支援センターとは、親と子がほっと過ごせるための居場所です。

子育てに悩んだり、疲れたり、おしゃべりがしたくなったら、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

乳幼児を持つ保護者の皆様を応援します。



“たんぽぽ”

子育て支援センター
(うぶやま保育園内)
TEL 25-2014

子育て親子で過ごす

くつろぎと交流の広場

お好きな時間にご利用ください

子育て親子が気軽に來ることができ、同じ子育て親子が
出会う交流の広場です。

子育てについての心配事や悩みも気軽に相談すること
ができます。子育て中のお父さん、お母さん、子守中のお
じいちゃん、おばあちゃん、産山村にお住まいの方で
あれば、無料でご利用いただけます。お子様と一緒にお
気軽にご来園ください。

年間活動予定

子どもたちは畑でじゃがいもや、
さつまいもを植えて、収穫を楽し
んでいます。時々出てくる幼虫
やみずも子どもたちにとって
は、大切な仲間・友達です。



季節の伝統行事など、年間を通して親子で
楽しめる活動や講習会を行っています。

主な年間活動

- ☆菜園活動(食育活動)
 - ☆たんぱた☆園外給食
 - ☆フール遊び
 - ☆ソーメン流し
 - ☆フックスタート支援事業
 - ☆絵本の読み聞かせ
 - ☆クッキー作りなど
- 保育園内にありますので、園
行事など一緒に参加するこ
ともあります。



☆友だちをつくりましょう！
☆みんなで楽しく！

～ご利用ください～
＊絵本の貸し出し

産山村子育て支援センター

利用対象者：村内に居住する児童の保護者
及び家族等

利 用 料：無料

開 園 日：月曜日～金曜日

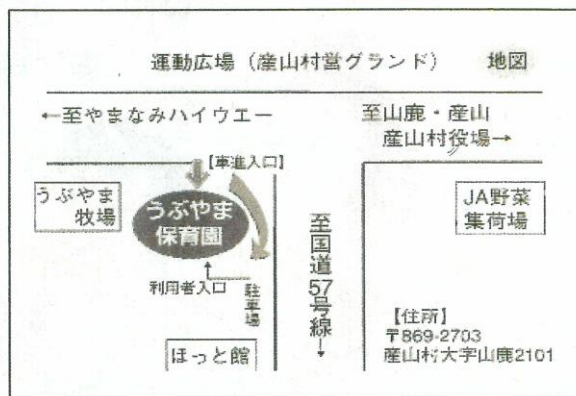
(祝祭日・年末年始を除く)

利 用 時 間：8：30～16：00

お問い合わせ

電 話：0967-25-2014

FAX：0967-25-2050



【お願い】安全のため、車は運動広場側(矢印)の入
口よりお入りください。＊駐車場完備



子育て仲間との出会いの場です。親同士、子ども同士の
様々なふれあいと交流が生まれます。子育てが楽しくなる
よう、子育て親子の交流・育児情報の交換の場としてご
活用ください。親子で一緒に遊べるスペースもあります。

保健
相談

育児
相談

☆一緒に遊びましょう！

☆子育てで不安に思った時、
悩むとき、一緒に考えましょう！

活動は水曜日を中心に行います。

産山村一貫教育

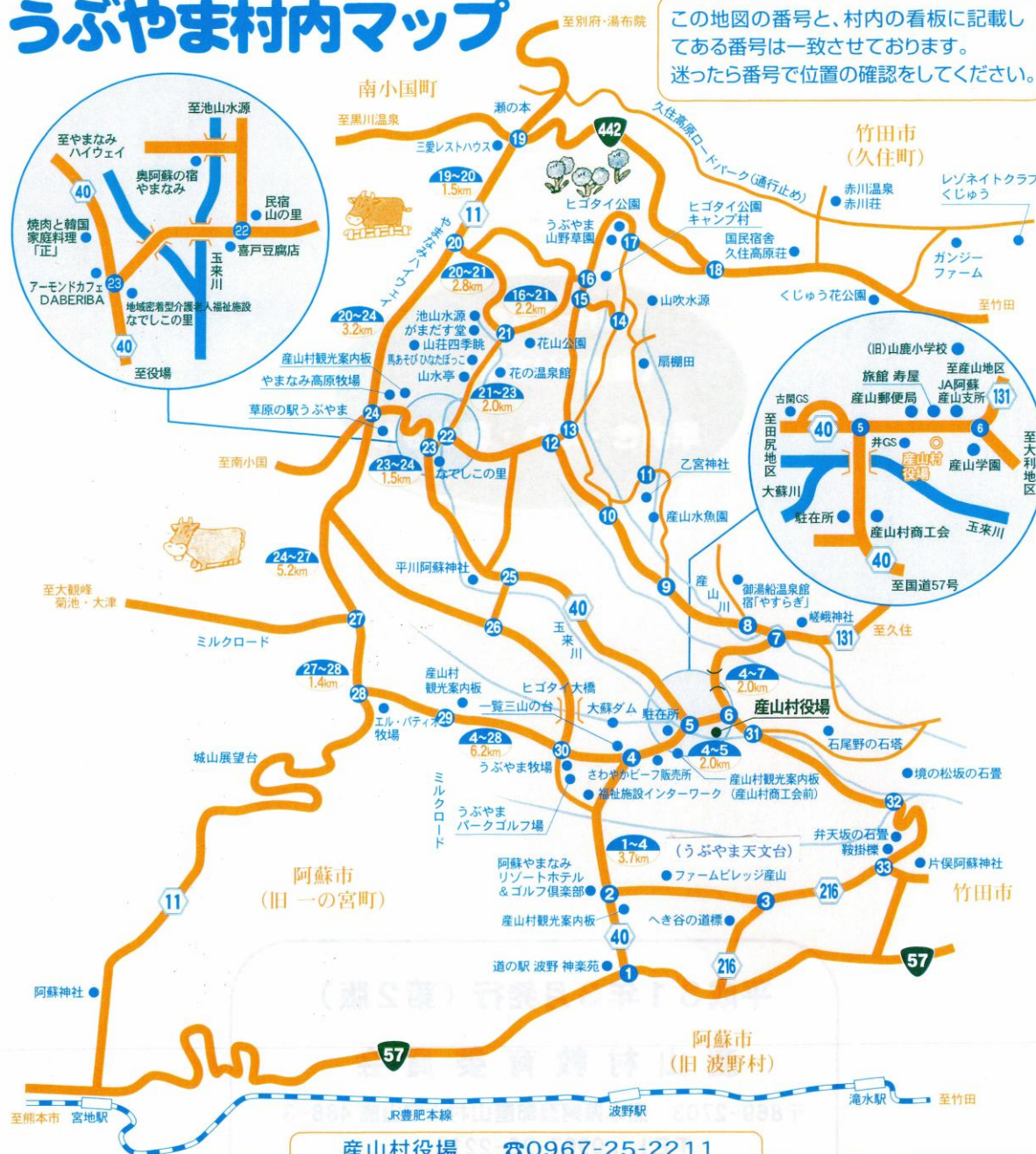
《健康合い言葉》

早おき・早ね・朝ごはん



うぶやま村内マップ

この地図の番号と、村内の看板に記載してある番号は一致させております。
迷ったら番号で位置の確認をしてください。



産山村役場 ☎0967-25-2211

花の温泉館	☎0967-25-2341	アーモンドカフェ DABERIBA	☎0967-25-3650
御湯船温泉館・宿「やすらぎ」	☎0967-25-2654	産山水魚園	☎0967-25-2069
ヒゴタイ公園キャンプ村	☎0967-25-2777	草原の駅 うぶやま	☎0967-25-2027
うぶやま牧場&風力発電所	☎0967-25-2900	山水亭	☎0967-25-2560
うぶやま パークゴルフ場	☎0967-25-3610	やまなみ高原牧場	☎0967-25-2925
ファームビレッジ産山(うぶやま天文台)	☎0967-25-2210	喜戸豆腐店	☎0967-25-2416
うぶやま山菜工房	☎0967-25-2572	がまだす堂	☎050-3481-7672
阿蘇やまなみリゾートホテル&ゴルフ倶楽部	☎0967-25-2331	うぶやま山野草園	☎0967-25-2285
奥阿蘇の宿 やまなみ	☎0967-25-2414	古閑石油	☎0967-25-2033
民宿・農家レストラン 山の里	☎0967-25-2253	井石油	☎0967-25-2008
馬あそび 陽なたぼっこ	☎0967-25-3580	J A 阿蘇 産山支所	☎0967-25-2311
旅館 寿屋	☎0967-25-2020	さわやかビーフ販売所	☎0967-25-2958
山荘 四季眺	☎0967-25-3232	産山村観光協会	☎0967-25-2211
焼肉と韓国家庭料理「正」	☎0967-25-2983	産山村商工会	☎0967-25-2811

※このパンフレットは、一部入湯税により作成しています。

産山村一貫教育

《健康合い言葉》

早おき・早ね・朝ごはん

平成31年3月発行（第2版）

産山村教育委員会

〒869-2703 熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿 488-3

TEL : 0967-25-2214

FAX : 0967-23-9670

E-mail : kyouiku-u@ubuyama-v.jp

